

経営比較分析表（令和5年度決算）

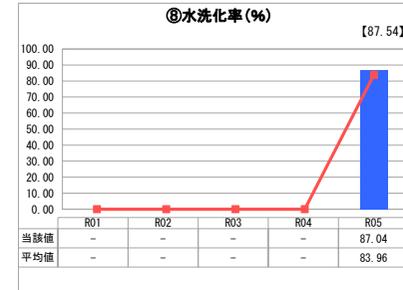
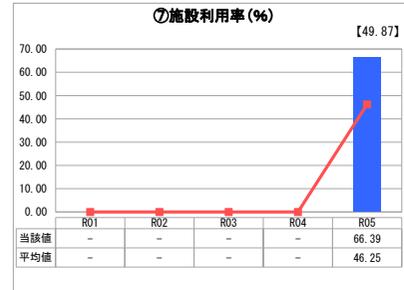
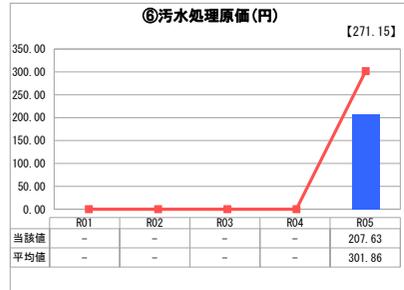
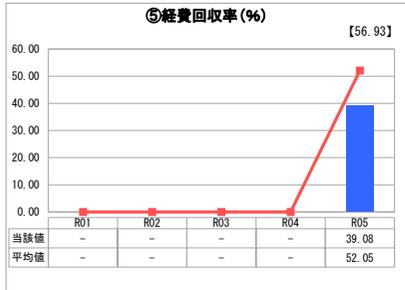
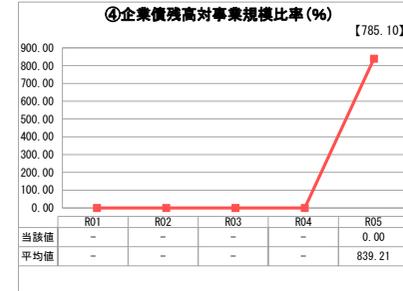
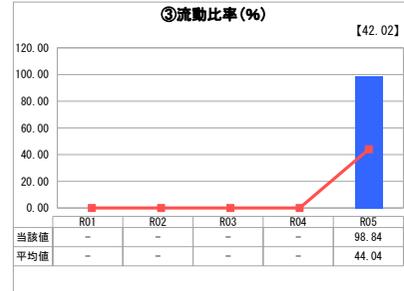
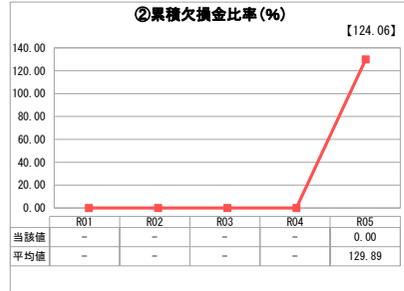
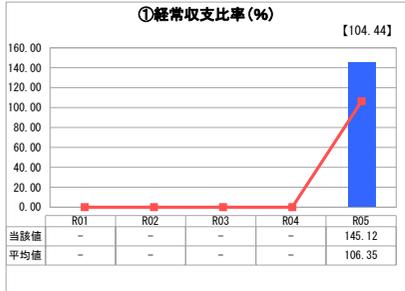
埼玉県 鳩山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.66	6.58	99.86	1,925

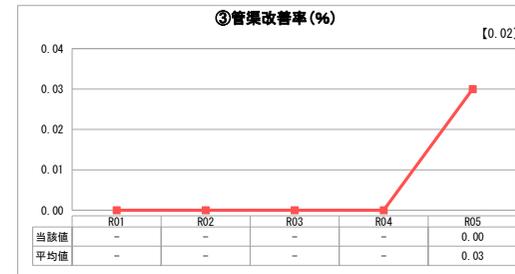
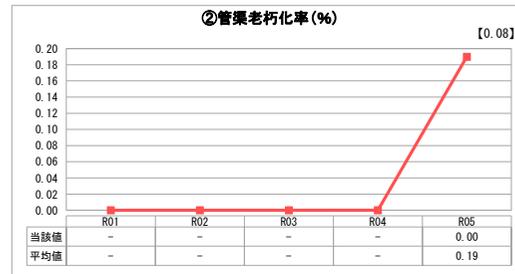
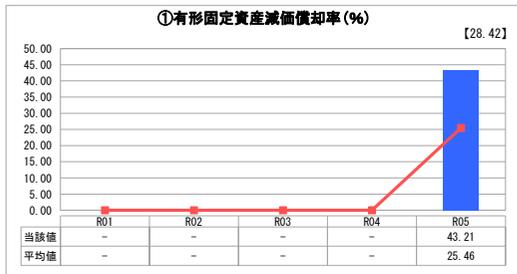
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,967	25.73	503.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
849	0.24	3,537.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

法適用初年度であるため、前年度比較はない。
 ①経常収支比率は、145.12%で100%を上回っているが、一般会計からの繰入金に頼った経営となっているため、自主財源の確保や経営の効率化による経費削減が課題となる。
 ③流動比率は、98.84%で類似団体平均値と比較すると高いが、100%を若干下回っている。現金等の流動を注視しながら流動比率にも留意し事業を推進する必要がある。
 ⑤経費回収率が39.08%で、汚水処理に係る費用が、使用料のみでは賅えず一般会計繰入金から補填している状況である。使用料収入の確保のため、今後、適正な額に改定するなど経営改善に向けた取組が必要である。
 ⑥汚水処理原価は207.63円で、類似団体平均値を下回っている。
 ⑦施設利用率は、66.39%で類似団体平均値を上回り、施設の処理能力が、一日平均処理水量に対し、適正な規模となっている。
 ⑧水洗化率は、87.04%で類似団体平均値を若干上回っている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、43.21%となった。施設本体、管路については供用開始後18年で耐用年数を超えていないため大きな老朽化は見られず更新の必要はない。
 施設の機器については経年劣化による故障が目立ち、今後も年数を重ねるたびに各機器の故障が懸念される。

全体総括

使用料の見直しについては、町内他地区の下水道使用料との均衡を図る観点から、下水道組合と同時期に実施する予定である。
 令和6年度に維持管理適正化計画を策定し、維持管理コストの負担軽減に向けた対策を検討していく。また、公営企業会計を適用初年度であり、経営課題を明確にして事業経営の健全化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。